

上北沢 桜並木 会



通信
第42号

平成 29 年 5 月 16 日 発行

上北沢桜並木会議

連絡先 代表 石井 昭

上北沢 3-23-10 TEL3303-1524

HP <http://www.sakuranamiki.org/>

お問い合わせ : info@sakuranamiki.org



「活動報告会」を開催します - 5月25日 - お知らせ

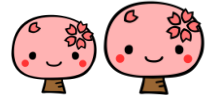
桜並木会議の活動について、昨年度の総まとめと本年度の計画について報告および検討会を開催いたします。皆様お誘いあわせの上、お集まり下さい。

日時：5月25日（木） 10時～11時

場所：上北沢区民センター 第2会議室（京王線上北沢駅南口下車3分）

議
題

- ①平成28年度活動報告と会計報告
- ②平成29年度活動計画と予算計画
- ③上北沢桜並木の現状と今後の維持活動について
- ④上北沢および周辺地域の問題点と課題について
- ⑤その他



「桜並木会議のこれから」について提案します



桜並木会議の立ち上げ

桜並木会議の立ち上げは2004年3月でした。当時の桜並木は老木の並木となっており、手入れはされていましたが、重症になってから手入れをするという後手後手の状態でした。嵐の後に枝が落ちていたり、倒木の恐れも出てきていて安全面での対策をしなければならないことから、まず一本一本の桜の木を観察し、手入れをしながら元気な並木にして行くことに住民の意思が高まり、この会が生まれました。

桜並木会議の当初の目標

住民が主体になり一緒に考えて行動し、この上北沢を元気で潤いのあるまちにしたいという願いでもありました。そこで町会や世田谷区などとも連携をはかり、単に桜並木だけではなく、地域の問題解決についても話し合うことの出来る会議としました。その内容も地域の歴史についてや道路のあり方、下水道、タバコのポイ捨て、他の地域団体との交流など多岐に渡っています。

桜並木会議のこれから



いままで

この会も今年ですでに12年を経過し、会員数も100人を超え安定した運営が出来ておりますが、参加者の高齢化に伴い、多岐にわたる活動を実践して行う人員が年々減ってきている状態で、いまやそれぞれの活動に振り分ける人員を揃えるのに苦慮しているところです。

これから

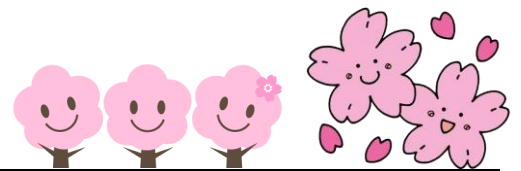
今年度の報告会において、これからの会の活動内容についてひとつひとつ実態に合わせて見直したいと考えています。会の目的であった桜並木の安全面での管理体制は毎年樹木医と桜のカルテを作り、それをもとに世田谷区と連携して手入れを行う方法を定着させています。今後これらの活動については徐々に縮小していく方向で考えていこうと思っています。

活動内容と今後の方向性について、提案として次頁表のとおりまとめました。



上北沢桜並木会議

❖活動の方向性の提案❖



活動内容	過去の実績	今年度およびそれ以降
①定例会等会議 ◆月例会 ◆事務局会議 ◆報告会 	定期的開催(月1回) 定期的開催(月1回) 年1回開催	随時(概ね3ヵ月に1回) 随時 年1回開催
②桜の維持管理 ◆「花芽観察会」と桜のカルテ更新 ◆「実態調査」と桜のカルテ更新 ◆コスカシバ等の害虫退治 ◆ヒコバエ・胴ぶきの伐採 ◆清掃活動(落花・落葉時期) 	年1回実施 5年前まで年1回実施 年1回実施 年1回実施 各年5日以上実施	年1回実施 世田谷区で実施 世田谷区で実施 町会等に協力して各5日程度実施
③行事の参加 ◆上北沢桜まつり ◆上北沢区民センター文化祭 ◆世田谷区地域風景資産交流会 ◆生涯現役ネットワーク ◆上北沢駅周辺地区まちづくり協議会 	参加 参加 参加 参加(活動を伴う) 出席	参加を前提に検討 参加 参加(活動はしない) 出席(個人参加)
④その他 ◆資金の調達(会費の徴収)  ◆ホームページからの発信  ◆「桜並木通信」の発行 ◆福音寮、上北沢小学校との交流 ◆「上北沢MAP」の作成・メンテナンス	徴収 発信 年3～4回発行 清掃活動を通じて交流 作成・メンテナンス	今年度は徴収(今後は徴収しないことを含め検討) 当面は発信(今後は検討) 年2～3回発行 交流(今後の活動は検討) 今後の活動は検討

❖上北沢桜並木会議のあゆみ❖



平成15年(2003年)	烏山ネット・わあ〜く・ショップの会合において、上北沢の桜並木に関する現況、さらに今後の維持・保全が話題に
平成16年(2004年)	『上北沢桜並木会議』発足(発足会45人参加)
平成17年(2005年)	会議の中で「桜の木班」「文化研究班」「みちづくり班」の部会ができ、それぞれの活動を開始 『上北沢桜並木会議』のホームページを立上げ、広報活動を開始
平成18年(2006年)	世田谷区条例に基づく風景づくり活動団体へ登録、承認
平成19年(2007年)	2年間にわたって3回の「街歩き」を実施
平成20年(2008年)	各地域の桜守・活動団体との交流開始
平成21年(2009年)以降	NHK総合TV、読売・朝日・産経・東京等の新聞に花芽観察会等の各種活動が取り上げられる
平成22年(2010年)～平成25年(2013年)	桜並木の子孫(接ぎ木)を育成(4年間)⇒上北沢小学校へ移植(平成25年)
平成16年～29年(2004年～2017年)	実態調査とカルテ作成、ヒコバエ・胴ぶきの伐採、害虫処理、清掃活動および地域の各行事に参加



上北沢桜まつりが行なわれました - 4月1日(土)2日(日) -

今年は初日土曜日が小雨まじりの天気で大変寒い1日でした。2日目の日曜日は朝から晴れ上がり、気温も心地よさが感じられる程度に上がりました。桜の開花は太陽が良くあたっているところは3~4分咲きで、その他のところは多くが蕾状態でした。しかしながら、新しく植えてある3本の「ジンダイアケボノ」はほぼ満開近くまで開花しました。桜並木会議ではパネル4面を使って、展示を中心に「街の歴史」やMAP等を提供することでまちの様子をお知らせしました

合わせて、桜並木会議でも資料提供を行っている特別共同展『賀川豊彦と松澤村』の案内も行いました。

「街の歴史」の内容は、会員である野口欣一さんのオリジナル作品です。テーマとしては以下の内容です。

- 大正・昭和前期の上北沢
- ◆大正13年10月北澤分譲地販売開始時の平面図および当時の写真
- ◆地図と空撮で見る上北沢
- ◆旧松澤村人口推移
- 縄文・弥生・古墳時代の住居跡と遺跡群の紹介および遺跡の実物写真
- 江戸のガイドブックに見る上北沢
- ♣「江戸近郊 道しるべ」(村尾嘉陵著)
- ♣旧荏原郡上北澤村中心部俯瞰図



桜まつりの様子



「街の歴史」①

「街の歴史」②

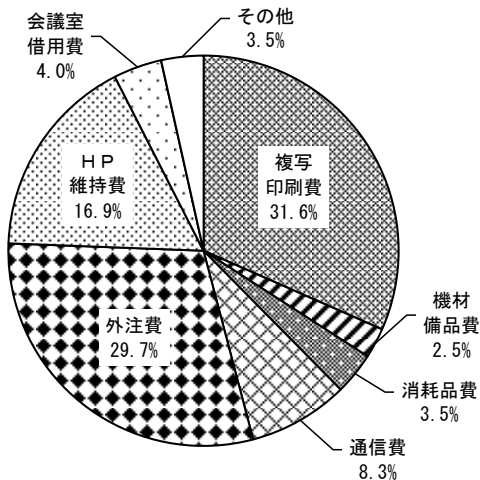
平成28年度の会計報告と平成29年度の予算計画

昨年度の収支結果と今年度の計画の詳細はつぎのとおりです。

【28年度の収入】

会費(寄付金含む) : 247,500円

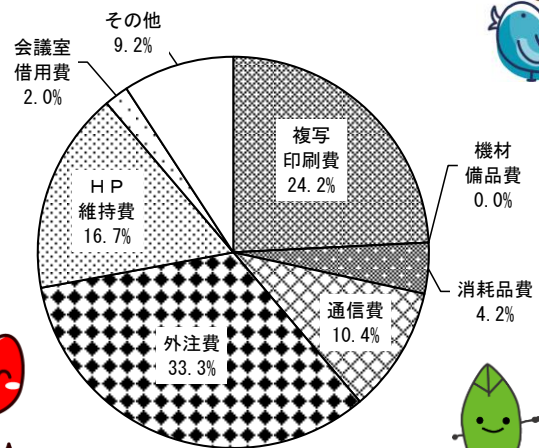
【28年度の支出】 296,579円



【29年度の収入予定】

会費(寄付金含む) : 240,000円

【29年度の支出予定】 240,000円



平成28年度の実績では収支差が約5万円ありましたが、繰越金で処理しました。残った繰越金(約16万円)は平成29年度の会計に繰り入れます。

平成28年度の実績を基に全体で24万円の計画としました。

